

みずほCustomer Desk Report 2021/03/04 号(As of 2021/03/03)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】				公示仲値	106.80
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.76	1.2085	129.02	1.3956	0.7824
SYD-NY High	107.16	1.2113	129.46	1.4006	0.7839
SYD-NY Low	106.70	1.2043	128.76	1.3921	0.7770
NY 5:00 PM	107.01	1.2062	129.06	1.3950	0.7775

NY DOW	31,270.09	▲ 121.43	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	12,997.75	▲ 361.04	日本10年債	0.1200	0.00bp
S&P	3,819.72	▲ 50.57	米国2年債	0.1417	1.97bp
日経平均	29,559.10	150.93	米国5年債	0.7308	6.90bp
TOPIX	1,904.54	9.69	米国10年債	1.4834	8.60bp
シゴ日経先物	29,275.00	▲ 245.00	独10年債	-0.2975	5.20bp
ロンドンFT	6,675.47	61.72	英10年債	0.7770	9.25bp
DAX	14,080.03	40.23	豪10年債	1.6990	2.00bp
ハンセン指数	29,880.42	784.56	USDJPY 1M Vol	6.00	0.10%
上海総合	3,576.90	68.31	USDJPY 3M Vol	6.20	0.03%
NY金	1,715.80	▲ 17.80	USDJPY 6M Vol	6.55	▲ 0.06%
WTI	61.28	1.53	USDJPY 1M 25RR	-0.25	Yen Call Over
CRB指数	189.963	▲ 0.02	EURJPY 3M Vol	6.70	▲ 0.06%
ドルインデックス	90.95	0.16	EURJPY 6M Vol	7.06	▲ 0.09%

東京	東京時間のドル円は106.76レвлでオープン。日経平均株価が堅調に推移する中、ドル円は緩やかに上昇した。ただ、米10年債利回りが1.40%~1.41%台で小動きに留まる中ドル円も日中の値幅は20銭と狭いレンジでの推移となり、106.87レвлで海外へ渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は方向感に欠ける動き。106.87レвлでオープン。米10年債利回りや欧州株が堅調に推移した事でドルが買われ、ドル円は約半年ぶりの107円台となる107.03まで値を上げた。その後ポジション調整に若干値を下げ106.91レвлでNYへ渡った。ユーロドルは1.2079レвлでオープン。欧州中央銀行の“債券金利回りの上昇を抑制するために劇的な措置は不要”との見解が売られたと1.2113まで上昇するも、ドル買いの流れは変わらず1.2064レвлでNYへ渡った。
ニューヨーク	欧州債が売られたことに連れて米債も売られたため、米金利上昇を受けたドル買いに、ドル円は海外市場で昨年の7月23日以来のレвлである107.03まで戻し、106.91でレвлのNYオープン。朝方は米2月ADP雇用統計が予想を大きく下回ったことから106.81まで下落する。しかし米金利が徐々に上昇する動きに再びドル買いが強まり、107.09まで上昇する。10時に発表された米10月ISM非製造業景況指数は、寒波の影響で前回から低下し、予想も下回ったことから106.96まで下押しするが、米金利が更に上昇する展開に107.16まで上昇する。その後は107.20はレジスタンスとみられていることや、金利上昇が落ち着いたこともあり106.85まで反落する。午後は、ベージュブックでseveral(3~5)地区が今後several(3~5)ヶ月の間にmodest(若干)の価格上昇を予想しているとは、インフレを懸念しているとは取れないようなコメントも見られ、ハーカー・フィッシャー連銀総裁の「利上げがあるとすれば2023年に向けての公算」との発言も伝わったがドル円の反応は限定的となり、明日正午からはパウエル議長も米経済に関する講演を控え、107円手前での推移が続く、107.01レвлでクローズした。一方、ユーロドルは海外時間にECB関係筋の話として「債券利回りでの劇的な行動の必要はないとの見方」とのヘッドラインが伝わったことから瞬時1.2113まで戻す局面もあったが、ドル買いに反落し、1.2064レвлでNYオープン。朝方はドル買いが更に強まり1.2043まで下落する。バイマン連銀総裁の「金利の動きの大きさは特に心配するようなものではない」との発言が伝わったが、市場のセグメント付近は見られず、安値圏での推移が暫く続くが、一旦ドルが売り戻される展開にユーロドルは1.2080まで戻す。午後は1.2070付近での方向感の無い推移が続く、1.2062レвлでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経路なしに変更される可能性があります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権内容はほぼ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することは禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

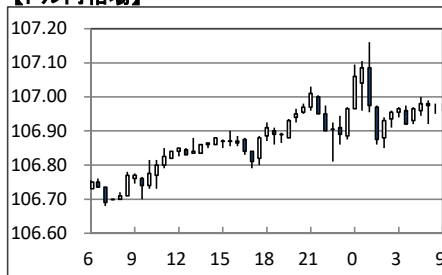
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
3月3日	09:30	豪 GDP(前年比)	4Q	-1.1%	-1.9%
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月	1.4%/0%	1.5%/0.1%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月	117k	205k
3月4日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	2月	58.7	55.3
	04:00	米 ベージュブック	「経済活動は緩やかに拡大」		

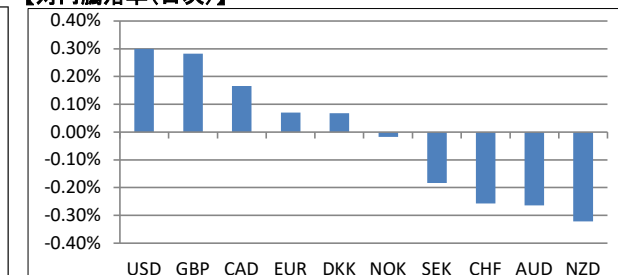
【本目の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
3月4日	09:30	豪 貿易収支	1月	A\$6850m	A\$6785m
	09:30	豪 小売売上高(前月比)・確報	1月	0.6%	0.6%
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	1月	-1.4%/-1.2%	2%/0.6%
3月5日	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	750k	730k
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	1月	3.4%	3.4%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	1月	1.4%	1.4%
	00:00	米 製造業受注(前月比)	1月	2.1%	1.1%
	02:05	米 バウエルFRB議長 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.60-107.50	1.2000-1.2100	128.50-129.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間から徐々に上昇。海外序盤にかけて米金利上昇を受けたドル買いからドル円は107円を突破。その後も、米金利の動きを受けた推移となると米時間には107.16まで上値を伸ばしている。足元のドル円は米金利主導の動きとなる中で、ドル円は約半年ぶりの水準となる107円台まで上値を伸ばしている。ドル円については今後も米金利主体の動きになると考えている。上昇基調にあった米金利は足元一服感が出てきているように思う。加えて、水準的にも決算期を控える時期的にも円転需要は相応に高まりそう。今週は米重要指標の発表を控えていることもあり今日のドル円は上値が重い推移になるのではないかと

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル		8	13